

11月15日（金）

ゴールドコースト只今 街中至る所にクリスマスデコレーションが施され、少し早めのクリスマスショッピングを楽しむ人も目立つようになりました。今週土曜日からは先月号でもお話ししたスクーリーズが始まるため、サーファーズから移動又は避ける地元住民も多いかと思われます。さて日本も日増しに寒くなってきているようですが、皆様如何お過ごしでしょうか。

さて今月のトピックは？

日本の富裕層は減少気味？

先日、世界の富裕層の動向をまとめたレポートが発表されました！さてその結果は？

◆富裕層ランキング（2013年人口/増減、単位：万人）資産100万ドル（約1億円）以上

1位 アメリカ 1321/168 2位 日本 265/-130 3位 フランス 221/28
4 ドイツ 173/22 5位 イギリス 152/11 6位 イタリア 144/12 7位 中国 112/9

昨年に引き続き世界第2位！前年対比約3分の1減少、金額にして5兆8350億ドル(約575兆円)

今年全世界で失われた資産総額の9割以上が日本人資産で、円安の影響が非常に高い。

◆資産10万ドル（約1千万円以上の人口と割合）

1位 アメリカ 8672万人/22.1% 2位 日本 5545万人/14.1% 3位 イタリア 2920万人/7.4%
4位 フランス 2666万人/6.8% 5位 イギリス 2566万人/6.5% 6位 ドイツ 2528万人/6.4%
7位 中国 2485万人/6.3% 8位 カナダ 1318万人/3.4% 9位 豪 1152万人/2.9%

中間層が高いのが日本の特徴であり、為替やインフレなどにも左右されやすい層となる。

資産の割合は、現預金の保有増加の可能性が高い。

◆全資産の内訳

	金融資産	それ以外	負債
・2000	53.3%	46.7%	15.6%
・2013	59.4%	40.6%	13.9%

◆金融資産の内訳

	流動資産	株式	その他金融資産
・2000	53.6%	10.9%	35.5%
・2012	55.3%	9.5%	35.2%

◆金融資産増加理由---老人層の手元資金の増加

◆それ以外の資産減少理由---不動産価格の下落

◆金融資産内訳---流動資産の割合の向上、現預金増加の可能性

◆株式の動向---2005、06年の約半分、東日本大震災が発生の2011年は6.5%と割合が下がった。
上記調査結果から円安とインフレが進めば資産が大きく棄損されることが明らかになった。

クレディス スイス/グローバルウェルネスレポート2013 参照記事

ISKでは皆様の大切な財産を守るため、不動産及びビジネス投資など様々な案件のご相談を随時受け付けております。担当飯塚までお気軽にお問合せ下さい。

飯塚 麻子（いづか あさこ）asa@isk.ne.jp

今月号も最後までご購読頂き誠に有難うございました。

ISK ハミル智子